

# 世の光

しっかりと組み合わせられ、愛のうちに建てられるのです。  
エペソ4章16節

日本同盟基督教団

第819号 2018年12月1日



クリスチャン&教会学校の信仰継承セミナー「ティーンズの性を考える」

## P.2 教会ルポ

仙台のぞみ教会  
登戸教会



## P.3 クリスマスメッセージ

安藤能成 世田谷中央教会 牧師

## P.4-5

高神教団総会及び神学校訪問報告  
光の森聖書教会新会堂起工式

## P.6 財務部

財務部だより その7

## P.7 国外宣教

一時帰国宣教師受け入れの恵み

## P.8-9 国外宣教

モンゴル教団派遣宣教師 矢田紫野  
ブラジル教団派遣宣教師 浜田献・陽子

## P.10-11 国外宣教

タイ教団派遣宣教師 河野晃・美千代  
宣教師へクリスマスカードを送ろう!

## P.12-13 人格尊厳委員会

SH防止連絡会参加の恵み  
セクハラ相談窓口

## P.14 バイブルキャンプ局

21世紀キャンプ伝道献金のご報告とお願い  
教団ニュース

## P.15 献身の証し

矢作キリスト教会 竹内智之

## P.16 地の塩投稿原稿

宣教としての事務管理を考える②

## P.18 救いの証し

長野めぐみ教会  
上田聖書教会

# 教会ルポ

## 教団レベル開拓の恵み

仙台のぞみ教会

(東北宣教会 宮城県仙台市青葉区)

教会員 谷口 和也

仙台のぞみ教会は、今年20周年を迎える日本同盟基督教団の教会です。元は仙台市の東側で借家を借りて始めた教会でしたが、ある時、大家さんのご都合でそこを出なければならぬ事態になりました。そんな状況の中で祈り求めて与えられたのが今の会堂です。

その会堂は神様から召命を受け、退職後に神学校に通われ、東京の自宅を売って仙台の地に単立の教会を建て上げられた藤森先生ご夫妻が遺されたものでした。志半ばで天に召された藤森先生亡き後、その会堂は使い道もなく、取り壊しの話も出ていたものでした。でも会堂は、いまだ講壇や椅子だけでなく、



最近(9/30)の持ち寄り愛餐会の一コマ

オルガンや聖書、聖歌や讃美歌もそろった状態で、再び教会として使われることを待っていたのです。私たちが祈りの末に導かれたのは、そんな「奇跡の会堂」だったのです。それ以降、私どもは、仙台市中心部の北縁の住宅地「桜ヶ丘」にある現在の会堂での宣教をはじめたのです。

仙台のぞみ教会の歴史を語る上で欠かせないのが2011年の東日本大震災です。軽微な損害で済んだ私どもの教会は、東北地方各地に向かわれる被災地支援の中継地となり、多くのクリスチャンとともに祈ってきました。さらに秋山牧師の出身地であることから、震災後に先生は気仙沼を中心として、傷ついた多くの被災者に寄り添う活動を展開してきました。

現在、十数人の現住陪餐会員が礼拝を守っています。でも、神様がこの「奇跡の会堂」をお与えになったのも、私たちが楽しい教会生活を送るだけではありません。20周年を機に、「全世界に出て行って」福音を宣べ伝える教会の原点に戻りたいと思います。

## 礼拝とみことばと福音に生きる教会

登戸教会 (東京宣教会 神奈川県川崎市多摩区)

教会員 林 義亜

登戸教会は、1929年、ドイツ人のブツス宣教師によって開拓され、1984年、現在の会堂が建てられました。堤先生、広田先生、川越先生、

住吉先生、松原先生の牧会を経て、現在は7代目となる李俊昊(リー ジュンホ)先生が2016年に就任し、「礼拝とみことばと福音に生きる教会」をビジョンとして掲げ3年目となります。2019年には開拓90周年を迎えようとしています。

礼拝には0歳から86歳までの幅広い年齢層が集まり、賛美の声や赤ちゃんの泣き声が響き渡る、どのような方でも気軽に集って共に主を礼拝できるアットホームな雰囲気です。また礼拝はライブ配信も



昼の愛餐会の模様

しており、インターネット上でも登戸教会の礼拝を見ることが出来ます。月に一度、礼拝後に4つのグループに分かれ、分かち合いの時間を持っています。水曜夜の祈禱会は、駅近くの喫茶店で行い、コーヒーや軽食と、いのちのパン(みことば)を味わっています。

昨年には、求道者向けの「新しい家族の学び」を、現在は「弟子養育」の学びを行い、さらなる信仰成長を目指しています。今夏には韓国からの短期宣教チームを迎えて、韓国料理教室を開催したり子ども集会を開いたり、新たな出会いと交わりが生まれました。

CS「星の子チャペル」では、ジュニア(小学科)ユース(中高校)それぞれに分かれて教会学校を行っています。昨年より、第4土曜夕方に「星の子キッチン」という名前で、地域の子どもたちや、日曜日に集いにくい中高生等を対象に共に食事をする場を開いています。

来年で開拓90周年を迎える登戸教会が、ますます豊かな交わりと一致をもって主によって建て上げられていくようにお祈りください。

クリスマスメッセージ

世田谷中央教会 牧師

あんどうのうせい  
安藤能成



「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」

(ヨハネ1章14節)

キリストが夜、家畜小屋で生まれたのは、彼が光だからです。光は明るい所ではなく、闇の中でこそ存在の意味があるからです。ベツレヘムで幼子イエスがお生まれになったとき、最初にその知らせを聞いたのは夜番をしていた羊飼いたちでした。彼らは当時の社会では低い階層に置かれていました。羊はパレスチナでは食用としても生活用品の材料としても重要な家畜でした。そしてユダヤ社会では宗教的にもなくてはならない家畜です。それでも羊飼いたちは日陰の存在でした。実際、社会で無

くてはならないことのために働いている人々が必ずしも優遇されているとは限りません。

神の目は、人間の目とは違います。人は自分より優れたものに目を奪われます。けれども神は人が目をとめようとしないうところに目を注がれます。神のあわれみは水のように低いところに、人びとから虐げられて低くされる者、また進んで低くなる人に注がれます。すべての人を救おうとする神の不思議な導きは、私たちを低くならざるを得ない状況に追い込んで神を求めようにさえます。

イエス・キリストについてヨハネはキリストを永遠の口ゴスとして表現しました。永遠の口ゴスが人となって生きたということです。神がどのような方なのかを見せてくださるためでした。

1章17節には、律法はモーセによって与えられたとあります。律法は人々に生きるための規範を与えました。しかし誰一人として律法が求める規範に従って生きることができませんでした。律法を守れない者は違

反者です。聖書はそれを不義であり罪だといえます。

その律法の要求を満たせない私たちを恵みによって救うためにキリストが来られました。恵みは受ける資格のない者に与えられます。「罪の報酬は死です。しかし、神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

キリストの生涯は神の恵みでいっぱいでした。恵みは彼に出会う者すべてに及びました。病の人は癒され、悪い霊にとりつかれた人は解放されて喜びの人生に変えられました。自分では変えられなかった罪の悩みの生活から人々を喜ばせる生活に変えられます。神様を愛し人を愛して誰かの役に立つことが幸せになります。それはイエス・キリストの生き方でした。「この方は恵みとまことに満ちておられた。」

このキリストに従う道を選んだ一人にマザー・テレサがいます。カルカッタの貧民街で「愛の宣教団」を起し「死を待つ人の家」を建てて仕えました。彼女をそこに導いたのは、幼い

時に、教会に集まって来る貧しい人たちを見て父親に「貧しい人をなおす薬はないの」と尋ねたとき父親が答えた「お前がその薬を発明してくれるとうれしいね」という言葉だそうです。それを実現したのです。彼女の宣教の目的は社会改良をすることではなくて、「神がこの世を愛しておられることを宣言すること」だと語っています。

今年の夏、私が奉仕している児童養護施設で、一人の担当保母が召されました。35歳でした。子どもたちがキャンプに出掛けていた日に、家庭舎で一人で亡くなっていました。どんなに寂しかったでしょう。子どもたちが大好きで、子どもたちからも職員からも愛され慕われていました。彼女が召される前の週にそこで彼女が作った夕食を食べべて家庭礼拝をしました。忘れられません。でも彼女の生涯は彼女にとって幸せなものだったと思います。親の元を離れて施設に來なければならなかった子どもたちを一生懸命愛して最後まで尽くしたのですから。

## 高神教団総会及び 神学校訪問報告

理事長 廣瀬 薫  
ひろせ かおる

2017年、主のお導きにより、高神教団と日本同盟基督教団の間に「宣教協約」が結ばれました。今年2018年3月の同盟基督教団総会には、金相碩総会長と具滋佑事務総長がご出席くださり、励ましに満ちたご挨拶をいただきました。

このたび9月12日、第68回大韓イエス教長老会（高神）総会（於天安市、高神大学校神学大学院）にお招きいただき、廣瀬薫（理事長）と畑中洋人（常任書記）の2人が、出席してまいりましたことをご報告いたします。総会場壇上での挨拶の後、同盟基督教団から記念に持参したみことば入りのクリスタル製盾を、新たに選出された金聖福（キム・キムソンボク）総会長に贈呈いたしました。

午後には、総会会場の高神神学大学院の辛源夏（シン・ウオ



ンハ）院長ら3人の先生方と、今後の協力関係について話し合う面談の時を持ちました。「宣教協約」には、東京基督教大学と高神大学校が用いられることもうたわわれているからです。朴永基先生の通訳の助けをいただいで感謝でした。「宣教協約」の要点は、①親密で持続的な交わり、②牧師、宣教師、信徒の、互いに主にある交流、③子ども・青少年の宣教、訓練、教育に関する交流。④実務チームによる具体的な準備、です。」

2016年の熊本地震の時には、熊本の裴東烈牧師の働きを

高神教団は強力に支援してくださいました。それは今、光の森聖書教会の10月18日の新会堂起工式に結実しています。

なおこの総会で、高神教団から同盟基督教団に派遣されている朴永基先生（新札幌聖書教会）が、高神教団国外宣教部（KPM）の本部長という要職に選出されました。3年の任期ではばフルタイムの重職を韓国で担いつつ、北海道の教会の主任も継続する朴先生は、大きな重荷を担われることとなりました。祈りに覚えましょう。同盟基督教

団にとっては、先方との交流をスムーズに進められる絶好の機会が、奇しくも備えられていたのだと思っています。

主の祝福と愛の中で、高神教団と同盟基督教団が良い関係を保ち、これまで以上に温かく親しい交わりをいただき、福音宣教のために力を尽くして共に仕え合い、働かせていただくことを期待しています。



# 光の森聖書教会 新会堂起工式

経緯報告

裴 東烈  
ペー とんりよる

「よろこび・いのちあふれる教会、よい教会、光の森聖書教会」

主のみ名を賛美いたします。

このように聖霊さまが臨んでおられるさわやかな風の中で起工式が執り行われることに感慨無量でございます。

光の森聖書教会は2012年6月25日(月)教団レベル開拓として生まれた教会です。光の森は開拓の5年前から九州宣教区のお祈りや短期宣教チームを通して、種まきがすでにされている所でした。教団の諸教会からの切なるお祈りと尊いご支援によって、そして伝道部の指導や助けによって、開拓は前進していきました。

ところが、一昨年2016年4月14日(木)から16日(土)にかけて、熊本地震が起きました。益城町、西原村は震度7の地震の揺れで、大きな被害が出



ました。教会がある合志市でも14日は震度5強、16日には震度6強が観測されました。

こういう中で、属している韓国高神教団の災難緊急救護団が2016年5月19日(木)〜21(土)熊本を訪れ、慰問し、支援金を献金してくださいました。

高神災難緊急救護団をはじめ高神教団の諸教会と信徒たちは被災地熊本に関心を持ってくださり、実際の献金と約束献金を捧げてくださいました。この献金で昨年8月21日に現在のこの土地、約100坪を購入することができました。

日本同盟基督教団も被災地のためにボランティアとご支援を積極的に送ってくださり大きな励みと力になりました。また、日本同盟基督教団の熊本地震災害対策本部では被災地にある光の森聖書教会が新会堂を建築する時には献金で支援することが決議されました。また、教団レベル開拓支援金も捧げられました。

このような尊い献身と犠牲を払った献金を頂きました光の森聖書教会の皆さんは心ひとつにして教会堂建築のために涙ながら献金を捧げています。

本日に、すべてが神さまの主権の中で行われるご計画であり、み恵みです。

今日、起工式に日本同盟基督教団の廣瀬薫理事長、林明信伝道局長、入江喜久雄九州宣教区長、また高神教団から、キム・ソンボク総会長、ファン・マンソン法人理事長、ファン・ウンソン宣教部理事長、キム・ソン Chol 法人理事。多くの先生方々が来てくださり、心から光栄に思い、感謝しております。そして、実際に教会を建ててく

ださいます建設会社フレンド工房社長の浦田富也さんをはじめ建築士の方々にも心より感謝いたします。

最後に、神の家族として喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣いてくださった光の森聖書教会の皆さんに心より感謝いたします。ありがとうございました。

(光の森聖書教会牧師)



## 財務部

### 御礼とお願い

財務部だより その7

財務部 古川弘幸ふるかわひろゆき

クリスマスおめでとうございます。

今年も一年間の教団財務部の働きにご協力くださった諸教会の先生方、並びに教会員の方々、特に教会会計の実務を担当してくださった方々に心から感謝申し上げます。

皆様もご存知のように、教団には、2つの負担金（『教団負担金』と『明日の伝道者育成負担金』）があります。『教団負担金』は、皆様の献金（礼拝・月定・感謝献金）の約10分の1からなるもので、伝道支援費、理事会及び局部委員会等の会議費、教育関係費、本部経費等、教団運営上の経済基盤となる重要なものです。その割合は、教団本部会計収入の約半分（2017年度決算によれば44.3%、額にして約1億925万円）を占めています。今年度9月末の予算達成率は、73.2%（9か

月目なので予算に対して75%が期待値）となっており予算達成まであと一歩という状況です。

しかしながら、2017年度の教団負担金は、2016年度比でマイナス244万円だったために、2017年のみの収支差額は、328万円のマイナス決算となり、2018年度への一般会計の繰越金は117万円（注1）となりました。

そのため財務部は、教団総会の際に、教会会計の状況を説明して、局部委員会等にも節約をお願いしながら、会計状況の好転を目指して参りました。しかし、支出予算を大きく削ることはできず、収入も増えていませんので、赤字決算になる可能性があります。（注2）

そこで、諸教会の皆さま、特に会計担当の方には、今年度の期末となる12月末日迄に今一度、未送金になっているものがないかを確認して頂きたいと思っています。クリスマスも近づき、何かとご多用のこととは思いますが、教団の諸活動がより良く進められることを願うので、ご協力をよろ

しくお願いいたします。

尚、教団への送金状況を確認する際には、明日の伝道者育成負担金、松原湖研修会負担金、バイブルキャンプデー献金、献身者デー献金、謝恩デー献金、国内宣教献金、国外宣教献金、21世紀キャンプ伝道献金、「祈りのネットワーク」献金、教団紙「世の光」代金、互助会費、団体定期保険保険料、教団退職金掛金、書籍代金の送金状況についても今一度ご確認ください。

御子イエス様の誕生をお祝いするクリスマスを迎えるこの月、皆さまの教会に主の恵みが豊かに注がれ、お働きが尊く用いられますようにお祈りいたします。

「…その名はインマヌエルと呼ばれる。」…訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。（マタイの福音書1章23節）

（天竜キリスト福音教会牧師）

（注1）：今年度当初の財務状況

445万円（2016年度からの繰越金）－328万円（2017年の赤字額）＝117万円（2018年度への繰越金）。

（注2）：今年度の予想

2018年単年度の赤字が昨年と同様（328万円）の場合、2019年度の繰越金は約200万円の赤字になります。



御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。マタイ 24 章 14 節

## 同じ屋根の下で

一時帰国宣教師受け入れの恵み

八千代聖書教会 教会員

仙波 昌代

2016年7月末、国外宣教委員会から突然の依頼がありました。八千代聖書教会は2015年4月から専従の牧師が不在であったこともあり、当時空いていた牧師館に浜田献宣教師ご一家の2ヶ月間の滞在先として受入れてほしいとのことでした。教会がそんな時期だっただけに私たちはむしろ心から喜んで受け入れを歓迎いたしました。

そして同年12月8日、ブラジルでの第1期宣教活動を終えた浜田献宣教師ご一家との出合いが与えられました。4年ぶりに帰国した安堵感で満たされた笑顔の浜田献先生、陽子夫人、そして真理生君、湧希君、聖也君、翔君、4人の愛らしい子どもたちが印象的でした。多分どの国でも例外なく子どもには警戒心を和らげる賜物があるように思います。この出合いは私たちにとって国外宣教活動という大変なお働きをより身近に感じる機会となりました。それでも、度々国外宣教に派遣される先生方に報告会も兼ねて説教をお願いすることがありました。しかしこれほど長い期間同じ屋根の下にいらっしやるという経験は滅多にあるものではありません。



浜田宣教師一家とともに

教会の方々もCSの子どもたちも興味津々、ブラジルでの生活環境、子どもたちの教育、宣教活動の実情などなど、お聴きしたいことは山ほどありました。普段の日曜日は各地の教会を訪問され不在のことが多く、なかなかお話を伺うチャンスがありませんでした。12月に報告会とクリスマスマス礼拝、そして祝会へのご出席が叶ったのです。報告会ではブラジルの現状などのお話を伺うことができました。一週間のうち断水される曜日が決まっていること、近所で殺人事件が起きることも珍しくないこと、最初に現地に行った時に言葉の壁があり、なかなかコミュニケーションが取れなかったこと、その中で陽子夫人は子どもたちを通してのコミュニケーションがあり、同じ母親同士という繋がりの中に身を置いていたのでポルトガル語の上達が浜田先生よりも早かったということ。しかし、やはり一番早かったのは子どもたちだったことなど、とても興味深いお話でした。4人の子どもたちはクリスマス祝会ではCSの子どもたちとチームを組み大人にクイズを出すなど違和感なく楽しんでいる姿は微笑ましいものでした。また子どもたちはサッカーが得意ということで、サッカーの試合を急遽企画しました。そこでも純粹に楽しみながら一瞬で参加者の中に溶け込んでいました。初めての場所や人に対しても、もの怖じせず、多くの人々と交わることで大切さを体得しているようでした。浜田先生ご夫妻は今までどれだけこの4人の子どもたち

に救われたことだろうと思いをした。普通に生活をするにも、宣教活動をするにもご家族一人ひとりがそれぞれに役割を果たしその地で辛抱強く関わり関わっていく、色々な困難があってもその都度、神さまに祈り委ね、前に進むことを止めなかつた浜田先生ご一家のエネルギーがシユな思いに私たちは頭が下がる思いでした。そしてまた二度目の宣教活動に向かわれるお二人は帰国して改めて味わった神さまの祝福と恵みを早くブラジルの方々々に伝えたい！今からワクワクしているとおっしゃっていました。あれから、約一年半余りが経ちその熱意が今も発揮されていることを誌面で拝見しております。私たちに国外宣教の大変さと意義を教え続けてくださる浜田献先生ご一家のためにこれからも祈り、お支えしたいと思っております。

「見よ。わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」創世記28章15節



## 彼らの信仰告白

モンゴル 教団派遣師宣教師

やだしの 矢田 紫野

アムガラン聖書教会

先日、教会学校のお楽しみタイムに、一人ひとりにチョークを渡してコンクリートの地面に好きなだけ好きなことを描く時間を待ちました。みんな思いっきり絵や文字を書いていたのですが、彼らが帰った後に読んでみるとこんな文章が。「神様愛してる」「God is love」「悪い心を神様は見ている」「みんなのことを愛してるよ」それを読んで私の第一印象は「なんてポジティブ！」

というのは、4、5年前、教会学校に来ていた子たちは「殺してやる!」「ナンキン虫!」「売春婦!」「犬コロ!」という言葉が飛び交う子たちだったからです。地面に落書きをしたなら、一人ぐらい悪態をつく子がいるかと思っただけですが皆無とは! 学習センターがある地域はそれほど治安が悪いところではありませんが、それでも朝からたむろしている酔っ払いの男性たちをしばしば見かけます。数年前には夜暗くなつた頃に近所の店に買物に出かけた6年生男子が見ず知らずの男性にいきなり刺された事件がありました。先

日もセンターに来ている子が帰宅中に知らない子に殴られる事件発生。最終的には人物を特定することができましたが、殴つた子は年齢的には6年生ですが学校には行っていないということ。

学校に行かなくなるのは人ごとではありません。学習センターに来ている子の中にも4、5年生ぐらいになると家人に嘘をついて学校をサボり、そして学習センターもサボってふらふら遊び歩く子がたまにいます。そういった生活の乱れを元に戻せないと思春期になって家出や外泊、十代の妊娠出産などにつながるケースをこれまでもこの地域で見聞きして来ました。

前述のような自由な落書きをしたのは、このような地域に住んでいる子どもたちです。両親がアルコール依存症の子、毎晩遅く帰宅する父親を一人で待つ父子家庭の女の子、かなり重度であると思われる精神障害を持った母親との母子家庭の子、一ヶ月近く風呂に入っていないと思しき男の子など、彼らの家庭事情は決して楽ではありません



学習センターでの誕生日会のひとこま

ん。その彼らがみことばを聞いて自分の言葉で書き表したのが前述の落書きだと考えると、これは彼らの「信仰告白」だと思ふのです。

後日、学習センターに1年生の時から来ている4年生の女の子がセンターの時間に話しかけて来ました。彼女は学習センターに来ると同時に教会学校にも積極的に来るようになり、最近妹(今年1年生)もセンター、教会学校共に常連です。「あのね先生。私、計画してるのがあるんだ。大きくなったら教会学校の先生やるの。それから平日には学習センターに週3日来てお手伝いするんだ。」主が、確かにこの子の内にも信仰を育てておられる、そう思うのです。

### 国外宣教献金報告 (2018年10月末現在)

↓期待 83.3%

7,090,886円 (52.7%)

宣教師指定献金予算 13,450,000円

期待値 83.3% ↓

28,326,342円 (65.7%)

収入予算 43,120,700円※

※収入予算 (45,850,000円) から積立て金取り崩し分を除いたもの。

<感謝とお願い>いつもお祈りとご協力感谢您いたします。今年も国外宣教のため、2018年度10月末までに左記の献金をいただき、宣教の働きを進めることができました。(月平均約283万円)そして予算達成のため、年末までに一人あたり1500円(目標)の献金を呼びかけたいと思います。可能な方は、諸事情でしなくてもできない方々がおられることを覚えつつ、数名分していただけると感謝です。宣教の働きが前進していけるようお祈りとご協力をお願いいたします。神は喜んで与える人を愛してくださるのです。コリント第二9章8節b 国外宣教委員会





# 人生の終わりに心を留めて

ブラジル 教団派遣宣教師

はまだ けん ようこ  
浜田 献・陽子

ブラジリア・アライアンス・キリスト宣教教会

日本の皆様の絶えざるお祈りとおささげものに心から感謝申し上げます。ブラジルは4年に一度の大統領選挙の時期を迎えています。国民の直接選挙によって、すでに第一回目の投票が行われ、10月28日の第二回目の決選投票によって大統領が決定します。15年続いた左派労働党には陰りが見え、極右の候補者が支持率を伸ばしています。汚職や治安・経済の悪化に対する国民の怒りは強く、政治の刷新を求めています。ブラジルの選挙は投票が義務のため、18歳以上70歳未満の者は投票しないと罰金を科せられ履歴にも汚点を残すため、皆否が応でも投票場に向かいます。このレターが読まれるころには、ブラジルは新しい道を踏み始めているかもしれないかもしれません。大きな岐路に立っているこの国のために、引き続き関心をもってお祈りください。

私は、毎週水・金曜日の日本語学校のクラスと、火・木曜日の家庭集会和訪問伝道を続けています。火曜日のヴァルジン・ポニータ地区での家庭集会は、小さな集まりですが、讚美歌を

歌い、みことばに聞き入り、自らの言葉と祈りをもって応答する貴重な礼拝のときです。体調や家庭の事情で教会に来ることができない参加者にとって、週に一度の集会は心のオアシスのような時間となっています。「この聖書の言葉は心に沁みませぬ」と毎回話してくださる前添さん。右半身麻痺の残る吉田さんはいつも適切な祈りをもって集会を締めくくってくださいませ。半年ほど前から訪問していたこの地区に住む川村さんのご主人は、先日急遽亡くなりました。8月に日本のミッシヨントリップチームと訪問したのが最後の交わりとなりました。あの日、日本チームのメンバーと楽しく会話を交わし、おそらく川村さんにとっては、最初で最後となった多くのクリスチャンたちとの祈りのとき。その3週間後に地上の生涯を閉じました。私にとっては心痛む時でしたが、残された奥様と家族の平安を祈りつつ、訪問を続けたいと願っています。実は奥様のお兄様がサンパウロ在住のクリスチャンであることがわかり、こ

の家族にも主の確かな導きがあることを信じて祈りに覚えています。

また、10月12日は教会員のペドロ・バスケスのお母様（クリスチアナさん）が、癌のため48歳で天に召されました。翌日の葬儀では、家族みんなで神への賛美をもって、亡きお母様を偲ぶ姿に胸を打たれました。進行する癌との闘いの中で、お母様は視力も言葉も失ったそうですが、楽器の音色に合わせて唇を動かし賛美する姿があったとのこと。痛み苦しみの中でも、神を称えて天に召されて行ったクリスチアナさんの信仰に、家族も教会も大きな慰めをいただきました。数ヶ月のうちに3名の方が亡くなりましたが、それぞれ死から、いろいろなことを思い巡らし、神の前に襟を正されるような思いをいただいています。引き続き皆様のとりにしをお願ひ申し上げます。

「祝宴の家に行くよりは、喪中の家に行くほうがよい。そこには、すべての人の終わりがあり、生きている者がそれを心に



世界宣教カレンダー 2019  
一冊 300 円

世界宣教カレンダー、ぜひ世界宣教の祈りにお用いください！  
(※売り上げの一部は国外宣教献金となります。)

<お詫び> 2019年のカレンダーの祝日が法改正により変更となりました。(12/23が祝日でなくなりました。)この点につきまして、作成の段階で修正ができず、シール対応とさせていただきますので、ここにお詫びと訂正をさせていただきます。すでにご購入いただきました方にはシールをお送りいたしますのでご連絡ください。お手数、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。国外宣教委員会  
kokugai@domei.info TEL 03-3465-2194 FAX 03-5465-5465

留めるようになるからだ。」  
伝道者の書7章2節



## 私の戦いにせず・・・

タイ 教団派遣宣教師（語学研修）

この河野 晃・美千代

バンコク・グレースインターナショナルスクール

「この戦いは、あなたがたが戦うのではない。堅く立って、あなたがたとともにおられる主の救いを見よ。・・・」Ⅱ歴代誌20章17節

この原稿を書いている10月は雨季も後半、間もなく乾季を迎えようとしています。日本のような美しい紅葉を伴う季節の変化はありませんが、明け方に窓を開ければ清々しい朝の風を感じる

ことができません。スコールの頻度も落ち着き、市場に並ぶ果物の種類も変わります。タイの学校では約一カ月の休みが終わり、いよいよ新学期です。この9月にタイでの三年目を迎えた私たち、やっと一年を通しての季節の移り変わりと一緒に

伴う行事や人々の行動を理解し始めることができているように感じています。ゆっくりですが、一足一足主に支えられながら、恵みの中でタイの地に順応させて

いただいていることを感謝しています。

その歩みの中で、主は私たち家族に新しい魂とのかかわりを与えてくださいました。バンコク中心地にある日本人教会が教

職不在のため無牧となっており、教会員の方々から奉仕の求めがありました。切実な求めでした。私はしばらく祈り、国外宣教委と相談した上で、月に一度、聖餐式の伴う第一週目の礼拝奉仕（午後）を引き受けることにしました。

その教会で一人の高校生にかかわる機会が与えられました。彼女は、お父様が日本人、お母様がタイ人のハーフで、初めて会った時はまだ救われていませんでした。この姉妹とかかわる中で、彼女の心に国際結婚の両親のもとで経験した文化や言葉の違いによる葛藤やアイデンティティーの問題、タイ人の親戚から受けた心の傷があることが分かりました。私は彼女の抱えている痛みに触れることに難しさを感じました。それは、私自身も韓国と日本の国際結婚の両親の間に生まれ、同じような問題を経験し、その解決がどれほど難しいかを理解していたから

です。しかし、主はこの姉妹の心に働いてくださり、次第にイエスさまを求める思いが与えられて

いきました。そして、聖書の学びと信仰告白を経て、この夏に洗礼へと導かれました。彼女は、神の国のアイデンティティーを持ち、救いの恵みによ

り両親や親戚に対する様々な思いもいやされ、喜びに溢れた新しい歩みを始めています。

この日本人教会での奉仕は間もなく終わりますが、感謝したいことは、主はこの教会での奉仕とこの姉妹の救いを通して、改めて私たちに主に信頼し、委ねることの大切さを教えてくださった

こととです。宣教地における歩みは、言語の学びや言葉の問題による奉仕の難しさから、どうしても見える結果を求めがちです。忙しく奉仕を行うう

うとして、自分の力に頼ろうとする誘惑が常にあります。し

かし、学びにおいても、奉仕においても、宣教は私の働きではなく、主がなされる働きです。「私の戦いにせず、ともにおられる主を見上げて！」過ぎた二年の恵みを感じつつ、これからの歩みもこの大切な主の教えに堅く立ち、ともにおられる主に委ね、福音のために一歩一歩前進して行けますようお祈りを

お願いいたします。

洗礼式の様子



洗礼式の様子

宣教師近況・祈祷課題

◆ 齋藤五十三・千恵子（台湾）

12月は、宣教区訪問のない月です。五十三は第一、第二週に東京基督教大学での集中講義および教会教職セミナーの奉仕があります。また月末から新年にかけて松原湖の新年聖会での奉仕です。

◆ 矢田紫野（モンゴル）

秋以降も学習センターは安定して運営しています。ゲレル姉が地域のソーシャルワーカーとも連絡をとり、子どもたちの学校や家庭とも連携を取るようになっていきます。難しい家庭背景

## 宣教師へクリスマスカードを送ろう！

齋藤五十三・千恵子 (台湾)  
177-0032 東京都練馬区谷原 5-29-7  
谷原キリスト教会内

矢田紫野 (モンゴル)  
Shino Yada  
c/o JCS International PO 51Box 189 BZD  
Ulaanbaatar, 13343, MONGOLIA

浜田献・陽子 (ブラジル)  
Ken & Yoko Hamada  
Av. Contorno, Bloco1125, Casa11, Nucleo  
Bandeirante, Brasília-DF, BRASIL  
CEP 71705-024

宣教師にとって、いつも主にあって祈り、支えていてくださる皆様からのお便りは、大きな励ましであり力です。ぜひこのクリスマス、レターをお送りください。国外宣教委員会

河野晃・美千代 (タイ・バンコク)  
Akira & Michiyo Kono  
Bangkok Grace International School  
79/3-12 Ladphrao Soi 112, Wangthonglang,  
Bangkok,10310 Thailand

林武志・趙伶儂 (東南アジア)  
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-23-14  
日本同盟基督教団事務所内 国外宣教委員会

金煥・朴貞玉 (南アフリカ)  
Jonkershoek Road121, Stenllenbosch 7850  
Republic of South Africa

長谷部愛実 (タイ・チェンマイ)  
Aimi Hasebe  
#101 Harmony House 246/16 Tung Hotel  
Rd.,T.Wat Gate, A.Muang Chiang Mai 50000  
Thailand

子どもたちもいますが、彼らがイエス・キリストに生涯つながらり続けられるように。またプロジェクトの今後の歩みの上にも知恵が与えられるように。

◆**浜田献・陽子 (ブラジル)**  
主の御用に間に合うように、内なる人をきよめ、みことばに生きる者とされるように。1月から高校進学する長男はじめ、子どもたちの学びと経済的必要が満たされるように。大統領選挙後のブラジルがふさわしく整えられていくように。

◆**河野晃・美千代 (タイ・バンコク)**  
11月24日にタイ語能力試験を無事に終えることができました。お祈りをありがとうございます。タイでの三度目のクリスマスを迎えます。与えられている奉仕(中高生のタイ語礼拝、アウトリーチ、家庭集会)が守られ、救い主イエス・キリストの降誕の恵みをタイの人々に証しできますようにお祈りください。

◆**林武志・趙伶儂 (東南アジア)**  
私たちの救い主であられるイエスさまの御生誕を心よりお祝い申し上げます。この時期、東

南アジアのクリスマスチャンもクリスマスに向け様々なイベント、活動を行います。異教だらけのこの国で、このクリスマス、多くの方がイエスさまの愛を知り、救われますようにお祈りください。

◆**金煥・朴貞玉 (南アフリカ)**  
こちらは春と秋は短く、夏と冬が長いほうです。今、昼はとても暑い時となりました。家内が10月24日帰国し、3カ月間東京で滞ります。健康が守られ、子どもたちとの再会が祝福されるようお祈りしてください。「和解の務め」の働きが地域的に拡大される予想ですが、忠実さを失うことがないようにお祈りしてください。

◆**長谷部愛実 (タイ・チェンマイ)**  
常夏のタイですが、北部であるチェンマイはこの時期数週間、朝晩は暖房が欲しいほど気温が下がります。この地での二度目のクリスマス。一年中、クリスマス飾り付けがここに見られるこの地でも、日本でも、本当のクリスマスを宣べ伝える機会となりますよう祈りつつ仕えます。

## 人格尊厳委員会

### SH防止連絡会

#### 参加の恵み

人格尊厳委員会委員長

石原伸光  
いしはらののぶあき

教会のセクシャルハラスメント(SH)に取り組む諸教団の情報交換と相互研修を行う目的で、2012年に「SH防止連絡会」が発足し、当初より同盟基督教団人格尊厳委員会も参加しています。

2018年も10月に連絡会が開催されました。現在の参加教団はイムマヌエル綜合伝道団、キリスト兄弟団、日本イエス・キリスト教団、日本バプテスト連盟、日本ホーリネス教団、日本基督教団からの個人参加と同盟基督教団です。さらに今回はオブザーバーとして3教団が参加しました。

午前の事務会では各教団の取り組みの紹介と質疑応答の時間をもち、良き相互研鑽の時となりました。午後は研修会を持ち、講師に湊信明弁護士をお迎えし、「教会におけるハラスメン

ト問題に対する弁護士からのアドバイス」と題して講演をしていただきました。湊弁護士は教会内のセクハラ被害者の弁護にあたられた経験も踏まえ、教会のセクハラ・パワハラ問題とその対応について聖書と法律から有益な助言をくださり、またパワハラ問題への対応も促されました。

同盟基督教団人格尊厳委員会も、SH防止連絡会への参加を通して、他教団の取り組みに学び、研鑽を深める中で準備を進め、2015年の教団総会の決議を経て、セクハラ相談窓口を開設しました。2018年11月には新しいパンフレットとカードを諸教会に送付いたしました。手に取っていただけたでしょうか。ぜひお読みください。セクハラは、残念ながら教会内でも起こっています。「教会ではセクハラなど起こるはずがない。」「起こってはならない。」という意識が、逆に教会内のセクハラを深刻化させてしまいません。被害者が自分一人で被害を抱え込むと、体も心も悲鳴を上げてしまいます。そのようなこ

とがないように、ぜひ相談窓口をご利用ください。お話を聞き、解決に向けてお手伝いいたします。

(波崎キリスト教会牧師)

パンフレットA4サイズ(表紙面)



**同盟教団では「セクハラ相談窓口」を設置しています。**

苦しいとき、おつらいときはご遠慮なくお電話ください。  
あなたのお気持ちを聞いて解決に向けてお手伝いいたします。

この相談窓口を利用できるのは同盟教団の教職と信徒と関係者です。

セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)で悩んでいる方を助けるための窓口です。



**「セクシュアル・ハラスメント」を受けたとき、ぜひご利用ください。**

電話による相談ができます。

曜日、時間帯、相談員(男性、女性)を選び、自分がかげやすいところに電話相談してください。「聞いてほしい」「対処してほしい」「確認したい」など、相談者ご本人の希望を尊重します。匿名でも相談に応じます。(同盟教団の教会に行かれている方がご利用できます。)

**相談窓口情報**

- 日曜日** 21:00~23:00 (男性相談員) **070-3149-0443**
- 日曜日** 23:30~25:30 (女性相談員) **070-3149-0448**
- 月曜日** 21:00~23:00 (女性相談員) **070-3149-0447**
- 火曜日** 21:00~23:00 (女性相談員) **080-9469-2862**

上記以外の曜日時間は**070-3149-0443**にお掛けください。

相談員が出られない場合もあります。お手数ですが改めてお掛け直してください。



日本同盟基督教団

## セクハラ相談窓口

おひとりでも苦しんでいませんか。  
あなたの悩み、ぜひご相談ください。



2018年11月作成(第3版)

受付：曜日、時間帯、電話番号  
 日曜日 21:00～23:00  
 070-3149-0443 (男性相談員)  
 日曜日 23:30～25:30  
 070-3149-0448 (女性相談員)  
 月曜日 21:00～23:00  
 070-3149-0447 (女性相談員)  
 火曜日 21:00～23:00  
 080-9469-2862 (女性相談員)

「セクハラ相談窓口の新  
 しい携帯カードとリー  
 フレットができました」

人格尊厳委員  
 おおすきいたる  
 大杉 至

私たちの教団にセクハラ相談  
 窓口が設置されて3年が経過し  
 ました。相談窓口には相談の電  
 話が寄せられております。

このたび、相談窓口で電話を  
 受け付ける曜日と時間帯を一部  
 変更しました。曜日、時間帯、  
 電話番号は次の通りです。

「ご自分がかけやすい曜日、  
 時間帯、相談員(男性、女性)  
 を選び、電話相談してください。  
 上記以外の曜日時間は070-  
 3149-0443にお掛けください。  
 相談員が出られない場合もご  
 ざいます。その際は、お手数で  
 すが改めてお掛け直してくださ  
 い。」  
 「聞いてもらいたい」「対処し  
 てほしい」「確認したい」など、  
 相談者ご本人の希望を尊重しま  
 す。匿名でも相談に応じます。  
 この相談窓口は同盟基督教団  
 の教会に行かれていらっしゃる方のご利  
 用できます。  
 曜日時間帯を変更したことに  
 合わせてセクハラ相談窓口の携  
 帯用カード(名刺サイズ)と三  
 つ折りリーフレット(A4サイ  
 ズ)のデザインを一新いたしま  
 した。「2018年11月作成(第  
 3版)」が最新版です。  
 この号が読まれる頃には諸教  
 会に届いていると思いますので  
 お手元がない方は教会の牧師や  
 伝道師の方にご確認ください。  
 なお以前の携帯カードとリー  
 フレットは使用できませんの  
 で、すべて廃棄してください。

もし携帯カードやリーフレッ  
 トが届いていなかったり、数に  
 不足のある場合には、左記まで  
 ご連絡ください。

また教会におけるハラスメン  
 ト問題に関するご質問、あるいは  
 宣教区や教会でのハラスメン  
 ト防止研修のご要望がございま  
 したら文末のメールアドレスま  
 でご連絡ください。

inkakusongen@gmail.com

人格尊厳委員会

以上、お手数をおかけします  
 がよろしくお願いたします。  
 (伊那聖書教会牧師)



カード(表)



カード(裏)

誰もが卑しめられることなく、一人ひとりの人格が大切にされ、  
 安心していられる教会であるように

神様が造られた一人ひとりの人間、誰かだけが特別に造られたわけでもなく、創造主なる神様が  
 愛しておられる一人ひとりに対してです。神様を信じ、おそれる者として、ハラスメントに対して怒りや嫌みを  
 おぼえます。ハラスメントを受けた人は、「口にすることと恐怖を併発し、自分の健康や安全は、守られ  
 てしまふことが期待されなくなると感じる」と自分が「傷かかっている」と感じます。私たちが心  
 も体も傷みをそのままとしておいては、救済をあげてまいります。ご自分のために、ぜひこの相談窓口を  
 使ってください。

互いに認め合い、愛し合うために。

日本の社会的な課題となっている「セクハラ」  
 は、残念ながらキリスト教団でも起こって  
 います。しかしキリスト教団には、セクハラな  
 ことは許さず、被害者の声を  
 聴いてまいります。主イエス・キリストの教  
 会が世の終わりで使命を果たすために、  
 教団も個々もセクハラから遠い生活をな  
 なければなりません。加害者になることも、被害  
 者になることも避けたいのです。そのために、  
 まず私たちは「セクハラ」とはどのようなもの  
 のかをよく知らなければなりません。そして  
 神様が造られた者として互いの人格の尊厳  
 を認め合うこと、主イエス・キリストの福音に  
 よって互いに愛し合うことができれば、互いに  
 愛されたいと望む者としての歩みを求めて行きま  
 しょう。

誰か重たさを折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともなく、  
 真実をもってさばきを執り行う。  
 イザヤ書42章3節

セクシュアル・ハラスメントとは？

他人に不当な不利益や身体的又は精神的苦痛を与える性的な振舞い、受けた人が望まない性的  
 な振舞い、振る舞いのすべてを指します。

原則として受けた人(被害者)の別居が基本です。望まない身体的接触や性的暴露を伴うことな  
 る行為、性的な言葉やからかい、性体験や形・音への露見、性的なうわさを流すことなど  
 も含まれます。執断に結婚や出産のことを押し詰めることなども入ります。親しいつもりで置  
 かれた言葉、たいしたことではないと思った行為でも受けた人にとって、性的ないやがらせとして西  
 しさを与え、人権を侵害するようになることは避けなければなりません。

社会でも教会でもその職務や立場によっては、その感覚がずれて、深刻な被害を生み出すことが  
 あります。男性も女性も、加害者にも被害者にもなります。男性も女性も、お互いの前をよく  
 神視し、軽はずみな行動を控え、主イエス・キリストの福音に生きまわらうように。

パンフレットA4サイズ(中面)

## 21世紀キャンプ伝道献金のご報告とお願い

バイブルキャンプ局

バイブルキャンプ局長

辻浦信生

手作り献金箱



高見石



2018年度10月までの21世紀キャンプ伝道献金(キャンプデ-献金含)は156教会から合計5,674,164円が献げられました。尊い献金に心から感謝いたします。

しかし目標額1,200万円に対しては達成率は約47%です。今年度最後の月である12月、教団に属する255の教会から、たとえ少額でもキャンプ伝道の充実と発展のために献金がささげられることを願っています。

### ○銀行借入れ分、返済終了

おかげさまで11月をもって、二施設拡充事業でお借りした銀行借入れ分の返済を終えることができました。今後はキャンプ債としてお借りした分の返済をしていきます。

### ○毎月100円の献金にご協力を!

日本同盟基督教団の現住陪餐会員の合計は9,687名(2018年5月現在)になりますが、その内3,000の方が毎月100円、年間1,200円を献げ てくださいれば月30万円、年間360万円になり、現在の実績と合わせると目標を達成することができます。

どうか教会で21世紀キャンプ伝道献金のための箱を設けていただき、献金にご協力をお願いいたします。ご希望の教会には手作り献金箱を無料で差し上げています。お気軽にお声をおかけください。

(連絡先: 090-4180-5051 辻浦信生)

教団ニュース

《教団カレンダー》

《会議》

◇理事会

12月3日(月) 教団事務所

2019年1月7日(月) 教団

事務所

《教団事務所》年末年始の事務所窓口業務について

◇12月28日(金)～1月4日(金)は年末年始休暇に伴い、事務所窓口業務は休みとなります。

2019年の事務所窓口業務は、1月7日(月)からです。

《訂正》

◇前回の「世の光」(第818号・2018年11月)4ページ召天教師追悼記事で、遠藤増雄師の赴任先の年数に誤りがありました。

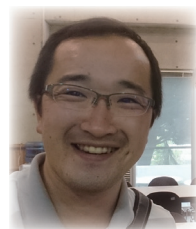
誤 1993年 古河教会

正 1962年 古河教会

お詫びして訂正いたします。

# 献身の証し

## 「出会いに感謝」



矢作キリスト教会  
たけうちともゆき  
竹内智之

私が牧師の道を歩むようになったのは、様々な人との出会いがポイントだったと思います。

・池田勇健先生との出会い

小学生の時に母教会に導かれ、池田先生と出会った時、根拠はないですがスーパーマンに見えました。やんちゃな私の事を受け入れてくださり、毎週温かい笑顔で迎えてくれました。子どもながらに、このような牧師になりたい。と思いました。

・母との出会い

私はストレートで神学校に入學しましたが、劣等生でストレートには卒業することができませんでした。しかし、母が忍耐をもって、私の召命感が無くならないよう祈り続けてくれました。母の祈り無くして今の私はいません。

・内越言平先生と子どもたちとの出会い

私は、神学校在学中、ある夏に内越先生と出会い、お友だち(子ども) 伝道の重要性を知りました。子どもを愛する牧師として主に仕えていきたいと決心する大切な出会いとなりました。また、子どもたちが福音を素直に受け入れ変えられていく姿を見て感動を覚えました。その時、マルコ10章13〜16節が新たに献身のみことばとして与えられました。

・菊池良一先生との出会い

先生の支えがなければ私が同盟基督教団の教師として仕えることがなかったと思います。先生は、補教師を指す私に対して、時に愛をもって厳しい言葉をかけてくださいました。見捨てることなく我が子のように育ててくださいました。

「そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された」(マルコ10章16節)

私は死に至るまで子ども伝道に生きる牧師として歩んでいくことを決心しています。



さんりくツイート@tohoku\_project 2018

@[SHIKA] 最初、生で見た時は感動したのだが、今や私の生活の一部となった彼ら。ご近所さんにとっては家の畑を荒らす「害獣」。「オレさま、こうすいてー(有名ドラマの家政婦の目撃シーンの格好で)見てだのよオ！」鉄砲による害獣駆除の一部始終を嬉々として語る近所のおばちゃん。さすがの私も「…」。

Tweets 9  
Following 1  
Followers 108

255 11388



### 「クリスマス装飾の写真」 募集!

皆さんの教会のクリスマスの飾り付けを写真で紹介ください。毎年恒例の美しい装飾、新しい取り組みで飾ったキャンドルなど、会堂の外回りや会堂内などクリスマスの教会を紹介する写真を送ってください。来年の2月号のカラーの表紙で1写真を採用して掲載します。

応募して下さる方は、所属教会の牧師を通して、装飾の説明文を加えて、2019年1月10日までにお送りください。写真はデジタルカメラなどで撮影してデータの大きなものをお願いします。表紙にカラーで掲載しても不鮮明にならない写真を送ってください。

- ①データはなるべく大きなもの
- ②教会名
- ③撮影者の名前、フリガナ
- ④30文字程度の説明文

担当: 榊原康成 (cityrejoice-ch@kcf.biglobe.ne.jp)

地の塩投稿原稿

## 宣教としての事務管理を考える②

### 霊的作業としての公文書管理

法人事務主事 河野 優

り、行政の公文書管理体制に対する信頼を根幹から揺るがすものとなりました。

ところで、教会は公文書の作成・保管を適切に行うことができていのでしょうか。例えば週報や月報、役員会や教会総会等の会議記録・資料などがもれなく作成され、すべてそろって適切に保管されているのでしょうか。何より、教会にとって、教会の公文書はどのような意義を持っているのか、考えられているのでしょうか。

「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」——この言葉から皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。これは「公文書等の管理に関する法律」の第一条に出てくる言葉で、国の公文書が国民の共有財産であることを表しています。昨今起こった行政における公文書改ざんは、言うまでもなくこの共有財産を著しく損なうものであ

る。教会における公文書は「霊的資産」とも言うべきものです。聖書を開くと、そこには天地創造に始まる世界の歩みが、そして神の御業と人間の歩みが記録されています。特に聖書は人間の偉業・功績というよりは、人間の度重なる失敗と悲惨とを赤裸々に記録しているものと言えます。人間の心理としては恥の記録は消し去りたい「負の遺産」であり、成功などの功績ばかりを見続けていたくなると思いません。しかし聖書は違います。聖書では懲りない人間の愚かな姿と対照的に、決して見捨て

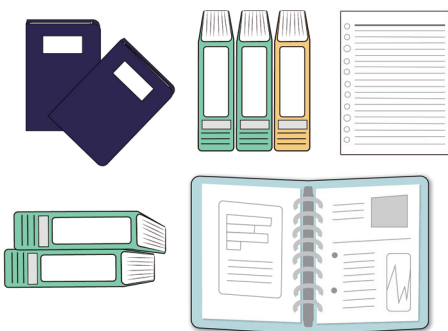
ることなく誠実にあり続ける憐れみ深く愛にあふれた父なる神さまの姿が繰り返し記録されています。教会の記録、あるいは個々が歩んできた人生においても同じことが必要ではないかと思うのです。誰しも失敗はしたくありませんし、恥の記録が残ることを喜びません。

しかし人間の歩み、信仰の営みはいつでも「悔い改め」から始まり、失敗から学ぶことに始まるものであることを私たちは知っています。だからこそ成功体験や功績よりもむしろ、失敗から深く学ぶ者として、失敗でさえも客観的かつ正確に記録された文書を残していくことが教会形成や教会の宣教活動において極めて重要になってくるのです。

「教会記録の活用は、事務的作業ではなく、霊的な作業です。教会の継続と成熟にかかわることだからです。教会の成熟は、歴史を正しく振り返り、その中に隠された神様の語りかけを受け取ることで、感謝と悔い改めを表していく証人的作業です。」（東京基督教大学 教会アーカイブズ研究会編『教会アーカイブズ入門』）

私たちは主の前に誠実に教会の宣教活動をしつかりと記録し、後の世代に引き継いでいく責任を負っています。それを受け継いだ教会がその記録を通して神の御声をはっきりと聞き取り、教会をキリストのからだとして建て上げ、置かれた地においていよいよ力強く宣教することができるよう、その道筋を見出していくのです。

教会における公文書管理は「教会の霊的資産」であり、それを作成し保管し活用する作業は単なる無味乾燥な事務作業ではなく、まぎれもなく宣教の働きそのものです。





取材原稿・写真

総合出版部

まきばらやすなり  
榎原康成

家庭教育部主催セミナー

クリスマスチャンホーム&

教会学校信仰継承セミナー

「ティーンズの性を考える」

講師 齋藤千恵子(台湾宣教師)

11月3日(土)に招待キリスト教会を会場にして、「ティーンズの性を考える」セミナーが開催されました。参加者は104名。今回のセミナーは齋藤千恵子先生を講師に迎えて、子どもたちに健全な性教育をしていくために教会の指導者を育成するものです。

セミナー冒頭に丸山園子教育局長が現在の日本の学校では子どもたちには、正しく年齢にあった良い性教育がなされていないことが説明されました。そのような状況でこのセミナーが

開催されることの大切さと台湾での実績、齋藤先生の働きが紹介されて始まりました。

セルフイメージから始まり、最近の子どもたちを取り巻く状況に即した対応まで、一つ一つの項目が良く練られた内容であると同時にそれぞれが関係を持ったトータルに学べる内容でした。

この日のセミナーは6時間を超えるハードなものでしたが、クイズやゲーム形式の時間もあり、参加者は積極的に参加して、熱心に学んでいました。

取材して本当に有意義で今の時代に必要なのだと実感しました。今後開催されるセミナーに多くの方に是非に参加して学んでいただきたいと思います。

(シテリジョイスチャー牧師)



まつばらこをおささえください

キャンプの維持・運営、新キャビンの返済等を覚えて、ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします！

年内にあと  
**100万円**  
満たされますように...

松原湖バイブルキャンプのため、お祈りと尊い献金を心から感謝いたします。2018年のキャンプも、信仰成長や奉仕者育成などのため豊かに用いられました。



郵便振替口座:松原湖バイブルキャンプ00560-8-16528



松原湖バイブルキャンプ

〒384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里 4912 Tel.0267-93-2347 Fax.0267-93-2475

E-mail: info@matsubarako.com http://matsubarako.com 松原湖バイブルキャンプ

## 救いの証し



「奇しいみわざ」  
奥様ひろみさんと  
長野めぐみ教会員  
田中 勇たなか いさむ

「人が、ひとりでいるのは良くない。」(創世記2章18節)このみことばから、神さまは私に二つの奇跡を起こしてくださいました。

2011年1月、私は大切な人を亡くした悲しみにむせんでいました。その悲痛は私を人との交わりから遠ざけました。孤独に徹する私に友人が、「ネット上でいいから誰かと接して。」と心配してくれました。何気なく始めたSNSで私に、「人がひとりでいるのは良くないよ。」と言ってくれる方が現れたのです。他の方々とはどこか違う雰囲気、温かく安らぎを感じる方でした。この方がクリスマスチャンドと知った時、教会に興味を持ち始めました。ちょうどクリスマスシーズンのこと、長野めぐみ教会のイブ礼拝へ主が導いて

くれました。そこはとても心地良く、その日から礼拝に行くことが楽しみになった私は、たくさんのおみことばによって慰められ、変えられていきました。

初めてのイブ礼拝から約1年、洗礼式の朝、街は初雪で真白でした。今日私を真白にされる神さまが祝福してくださいっていると感激したこと、受洗時の今まで感じたことのない喜びや希望、思い出すと今でもわくわくします。

私を救ってくださいましたイエスさまの奇跡、その奇跡はまだ続いたのです。「人がひとりであるのは良くないよ。」と言ってくれた姉妹(札幌在)を、その後神様は、私の妻としてくださいました。正にアダムとエバ、みことば通りに!1000キロ離れた者同士が今、長野で夫婦として神さまに仕えているのです。ハレルヤ!

「主に感謝し、御名を呼び求めよ。そのみわざを諸国の民の間に知らせよ。主に歌え。主にほめ歌を歌え。そのすべての奇しいみわざを語れ。」(詩篇105篇1〜2節)



「与えられた信仰を  
確信する」  
上田聖書教会員  
由祈 関せき ゆき

私の名前「由祈(ゆき)」は母が名付けてくれました。祈りに由って(よって) 生まれ、祈りに由って(よって) 育まれ生きていくという意味が込められています。

クリスマスチャンホームで育ち、10歳で洗礼も授かりました。しかし思春期を迎え、思うようになりませんでした。「当たり前教会に通っているけれど私に本当に信仰があるのだろうか」と。中学生の頃、心が疲れ果て、学校へも、教会へも行けなくなりました。私にはどちらも頑張らなければならない場所だったので。信仰者のあるべき姿、それにとっても達しないダメな自分と直面するのは当時の私には辛い事でした。

年数を重ね、徐々に心が癒され、アルバイトを始めた時、母に「月定献金をしなさい。神様に与えられている恵みを覚える為に。人は自分の力で手に入れたと驕ってしまふから。」と言われました。その言葉はストンと私の胸に落ち、教会へ引き戻されるきっかけとなりました。

毎月十一(といち)は大きいものに思われましたが、献金する度、こんなに与えられていたのだと気付かされるのでした。礼拝へ行く回数も段々と増えていきました。

そして、結婚が私の信仰を確信させました。信仰とは何か全く知らない夫に対し、人生で初めて「私は教会へ行きたいの!神さまを信じていて、それは私と切っても切り離せないものなの!」とアピールしました。彼に証ししながら、思いがけず私自身が自分の信仰を確信していきました。彼が救われるよう、日々祈りながら、これからは自分に与えられている信仰に感謝して歩んで行こうと思えます。最後に好きなみことばを。「神のなさることはすべて時になつて美しい。」アーメン。感謝します。

## 第1回 東方の「博士」たち？

たむら まさし

朝霞聖書教会牧師／聖書宣教会教師〔旧約学〕 **田村将**

聖書の世界には、それを取り巻く古代オリエント世界（あるいは古代ギリシャ・ローマ世界）の膨大な資料や発見の数々が存在します。それらを一つ一つ丁寧に学ぶことは、私たちのみことばの理解の一助となります。そのような経験をこの連載を通して共にさせて頂くことが少しでもできれば幸いです。



楔形文字で書かれた粘土板文書 左は164 BCのハレー彗星について言及している。右は61 ADの天体観測に関するもの。

図3

「イエスがヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。『ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました。』」

マタイの福音書2章1-2節

この聖句は、教会では毎年12月頃になると必ず一度はどこかで目にするか、言及されることのある箇所ではないかと思えます。「その星しるべに みたりの博士ら、メシヤを尋ねて はるばる旅しぬ（讚美歌1954年版103番3節）。」それが果たして「みたり（三人）」であったかどうかは定かではありません。しかし、異邦人の博士たちがはるばる幼子を拝みにやって来たというマタイの福音書に記録されたこの場面は、クリスマスを彩る大切な一ページとして、私たちの胸に刻まれていると思います。

それでも、ここで言われている「博士」たちが具体的にはどのような人々だったのかということは、実はあまり知られていないのではないのでしょうか。聖書には彼らは「東の方」から来た博士たちとしか書かれていません。そのために果たして東方とはどこなのか、様々に議論されています。アラビアやペルシア、バビロンがその候補としてあげられています。どの説も決定的ではありませんが、仮にバビロンから来たと考えるならどういふことが言えるのでしょうか。

「博士」と訳されている言葉は元々「マゴス」というギリシア語です。それは博士ではなく本来は占星術師や魔術師を指す言葉です。占星術や魔術は古代オリエントの社会では盛んに行われていました。古代バビロニア人がどのような天体観測を行っていたのかは、発見された粘土板文書などからある程度分かっています。たとえばある文書には紀元前164年のハレー彗星についての言及がありました（図3左側の粘土板文書）。また紀元後61年頃のある粘土板には月ごとの天体のしるしや現象などが記録されています（図3右側の粘土板文書）。これらのことから、キリストのお生まれになった時代にも確かに天体が観測され、「博士たち」はその情報を頼りにベツレヘムまでやって来たことが裏付けられるのです。

そのことに加えて確認しておきたいことは、当時の社会では占星術と魔術の境目はさほど鮮明ではなかったという点です。現代の私たちが「魔術 magic」と聞くと、おどろおどろしい何かを想像させられます。しかし、古代メソポタミアの人々にとっては生活の知恵であり、宗教であり、また、医学や薬学とも関連するものでした。科学的なものと迷信的な領域とが、当時は近現代ほど明確には分かれていなかったのです。そのような中、魔術の果たす役割の中心は、個々人を様々な危機から救い出すことにあったと言われています。病氣や怪我、危険、様々な予期せぬ困難な状況に陥った際、人々は魔術に頼ってその危機を脱しようとしたのです。

古代バビロニアの魔術文書マクルー (Maqlû: 図参照) は、そのような慣行に関して記した代表的な粘土板文書であり、様々な所作について詳細に記しています(図参照)。東方の博士たちも、もしかすると占星術師・魔術師として、人々の人生における危機に助けの手を差し伸べる役割を担っていた人々だった可能性があります。それでも、それは唯一のまことの神を信じる信仰とは明らかに異質であり、究極的な解決のない世界でした。そのような世界に生きていた博士たちが、この日、まことの救い主に会いました。彼らは暗闇に輝く光として来られた幼子を確認し、額ずいて礼拝し、大喜びで帰って行ったのです。クリスマスは、異教世界に生きていたこのような者たちにさえ、神の救いが及んだ時でした。このよきおとずれを、今年の最後の日々も共に伝え続ける者でありたいと祈られます。

# 地の塩

日本同盟基督教団

博士たちの礼拝  
Sandro Boticelli  
[1445-1510]



星を頼りに行く  
博士たち  
Gustave Doré  
[1832-1883]



H. M. Heget による想像図

アッシリアかバビロニア  
での癒しの一コマ。祭司が病人  
を診ている傍で、魚の格好をした者  
たちが守りと清めの役割を担っている。  
右端では易者が羊の肝臓を模したもの  
を調べている。



魔術文書マクラー  
ニネベ出土大英博物館蔵  
911-612 BC ©Cuneiform  
Digital Library

聖書と古代オリエント

P. 19

聖書と古代オリエント-1

P. 18

救いの証し

P. 17

取材

P. 16

投稿